

千葉県知事
堂本 暁子 様

2004年3月11日
里山シンポジウム実行委員会（仮称）一同

「里山シンポジウム」へのご支援のお願い

道ばたのツクシが愛らしく春を告げています。

平素から里山の保全につきまして深いご理解をいただき誠にありがとうございます。

私どもは、県内各地域で里山の保全に取り組む仲間の集まりです。地権者、市民、研究者、教育関係者、県庁みどり推進課など様々な立場の者が集まり、里山シンポジウム実行委員会（仮称）を立ち上げ、去る2月14日、千葉県立中央博物館講堂において里山勉強会を開催いたしました。大槻副知事にもお越しいただき、里山の保全についてお話しいただきました。また、農林水産省や林野庁の方々から里山保全に関する新しい施策についてもご助言いただきました。十分な広報もできませんでしたが、県内各地でさまざまな里山保全活動に携わる260余名もの参加がありました。立ち見が出て会場からあふれるほどで、アンケートにも参加者の半数を超える136名もの回答がありました。スタッフ一同改めて里山保全への関心の高まりを強く感じた次第です。

さて、この勉強会の場で、5月の里山の日に向けて里山シンポジウムを開催することを合意いたしました。実行委員を募ったところ、別紙の通り31名（2月21日に同じく千葉県立中央博物館で「ちば・谷津田フォーラム」がおこなったフォーラム「朱鷺が舞う ちばの谷津田に」においても実行委員を募り、8名の方から希望がありましたので、合計39名です）の方々から参加したいとの回答をいただきました。これで、里山勉強会のスタッフとあわせ、58名の実行委員が集まったこととなります。この中には地権者、農業・林業従事者、市民、研究者、学校関係者、自治体職員、学生、主婦などさまざまな立場のものがおります。シンポジウムを成功させ、一人でも多くの県民に里山の価値、保全の意義を知っていただき、保全活動に参加する県民を増やしていきたいと考えております。また、県みどり推進課さんにもお話ししたところご協力くださることので、大変心強く思っております。（この文章を、削除）

このため、今年の里山の日を新たな契機とすべく、「里山シンポジウム」を下記の通り開催したいものと考えております。

是非とも知事にご出席いただき、お力をお貸し願えればと存じます。ご多忙とは存じますが、何卒よろしくご願ひいたします。

記

月 日：2004年5月15日（土）

時 間：10時30分頃（里山の日除幕式の後）～16時30分

会 場：かずさアカデミアホール大会議室ほか

参加者：700名

午前の部では、知事とどなたかもうお一方との対談形式で里山について語っていただければと考えております。現在、養老孟司氏、倉本總氏、浅井慎平氏、加藤登喜子氏などを候補として考えておりますが、知事のほうでどなたかよい方がおられましたらぜひご推薦いただければと存じます。

また、午後の部では、以下の11の分科会をおこなう予定です。

- 1 里山と教育・学習（幼児教育，学校教育，環境教育，生涯学習）
- 2 里山と医療・福祉（森林療法，老人医療，障害者福祉）
- 3 里山と森林・林業（林木生産，森林保全，バイオマスエネルギー）
- 4 里山と稲作・水田（生産調整，土地改良，エコ農業，水田生物）
- 5 里山と文化・伝統（文化財，信仰，民芸，食、くらし）
- 6 里山と観光（エコツーリズム，農業体験，里山公園）
- 7 里山と水循環（河川改修，湧水保全，水質改善）
- 8 里山と生物・ビオトープ（生物多様性保全，外来種対策，里山管理）
- 9 里山と残土・産廃（循環型社会，産廃処理，不法投棄）
- 10 里山と芸術・アート（芸能，音楽，彫刻，絵画）
- 11 里山と政策（まちづくり，市民参加，都市計画）

つきましては、県庁内の関係所管課の職員の方々にも実行委員や事例報告者としてぜひとも積極的に関わっていただきたく存じます。「里山」はみどり推進課のみが担当という事ではなく、里山の持つ機能や、活用の仕方によって、複数の担当課が主体的に携わり、横断的で、有機的な分担体制としての「里山プロジェクトチーム」として、県庁の各課が「里山」に対応する第一歩となる事を期待するものです。

私たち実行委員会のメンバーが、直接各課にお伺いしてお願いしたいと考えておりますが、知事からも是非お声かけいただきたく、お願い申し上げます。

以上の件につきまして、ご配慮賜りますよう、何卒よろしくお願いいたします。

ご参考までに、2月14日の里山勉強会当日資料、アンケート結果、実行委員名簿を添付いたします。

以上